

第2回教育委員会会議

令和7年2月4日
午後3時30分
本庁舎屋上会議室

案 件

報告第7号

「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」【大阪市の結果】について

報告第7号

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査【大阪市の結果】について

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」【大阪市の結果】について、
P1～P89のとおり公表することを報告する。

〔今後の予定〕

- ・ 令和7年3月下旬 「子どもの体力向上推進プログラム」について
SKIPポータルに掲載
- ・ 令和7年3月31日 各学校において検証結果の公表
- ・ 令和7年4月 「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の
実施について通知

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果 要旨

1 調査対象

国公立の小学校5年生及び中学校2年生を対象とした悉皆調査

小学生:約98万人 中学生:約87万人

2 調査内容

(1)実技に関する調査(新体力テスト)

◇小学校調査〔8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

◇中学校調査〔8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、持久走(男子1,500m、女子1,000m)か20mシャトルランを選択

評価基準表	A	B	C	D	E
小学校5年生	65点以上	58～64点	50～57点	42～49点	41点以下
中学校2年生	57点以上	47～56点	37～46点	27～36点	26点以下

※各実技テストの結果を10点満点で換算し、合計80点満点で上記基準表に基づき、A～Eの評価を判定

(2)質問紙調査

◇児童・生徒質問紙調査

1週間の総運動時間、体格、生活習慣、運動やスポーツに対する意識 等

◇学校質問紙調査

体力・運動能力向上への取組や目標の設定、授業改善への取組 等

3 調査実施日

令和6年4月から令和6年7月末までの期間に各校で実施する。

(※1～3はスポーツ庁の調査結果概要より)

4 大阪市立学校の参加状況

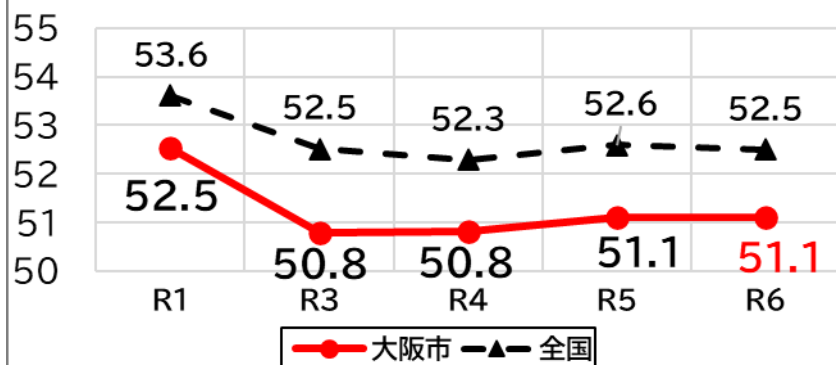
◇小学校282校 義務教育学校前期課程1校が参加 参加児童数 18,477人 (男子 9,402人、女子 9,075人)
◇中学校129校 義務教育学校後期課程1校が参加 参加生徒数 14,598人 (男子 7,599人、女子 6,999人)

1(1) 令和6年度 体力合計点の結果

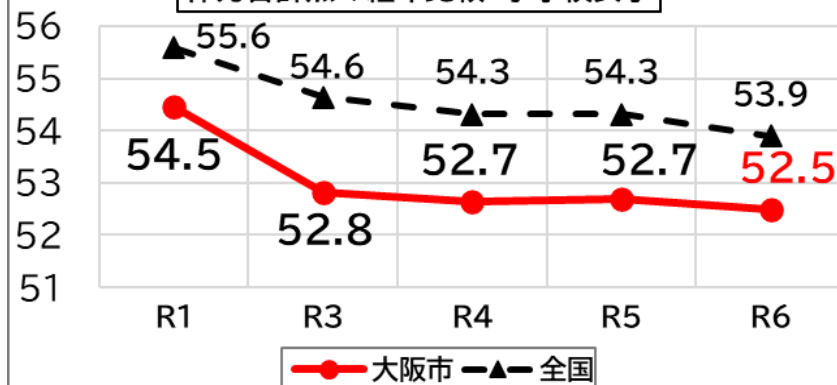
- 全国体力合計点については、中学校男子ではコロナ前の水準に戻ったが、小学校男子及び中学校女子では前年度からほぼ横ばい、小学校女子は引き続き低下している。
- 本市体力合計点については、全国と同様の推移となり、小学校男女・中学校男子はほぼ横ばい、中学校女子において全国を上回った。

小学校

体力合計点の経年比較 小学校男子

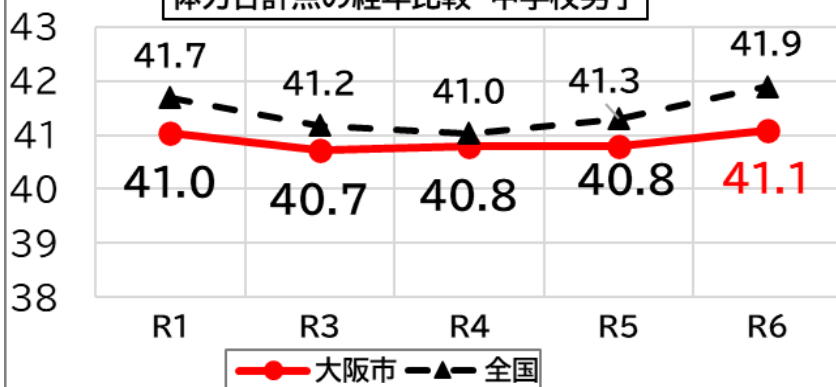


体力合計点の経年比較 小学校女子

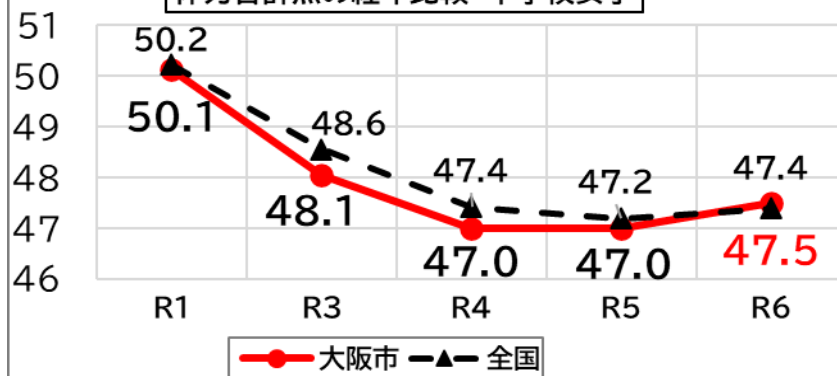


中学校

体力合計点の経年比較 中学校男子

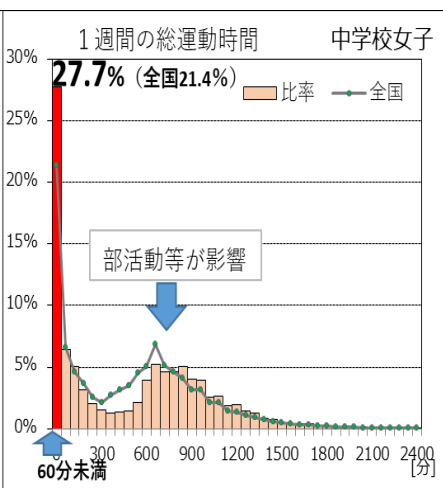
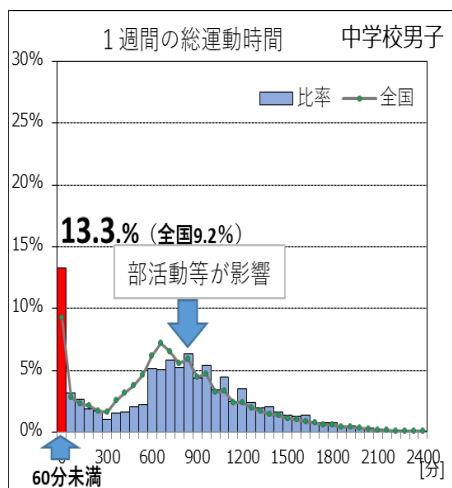
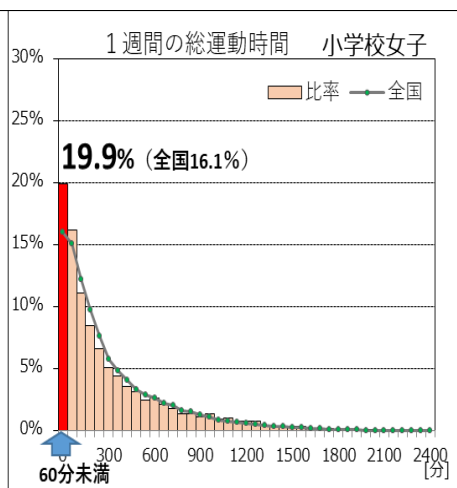
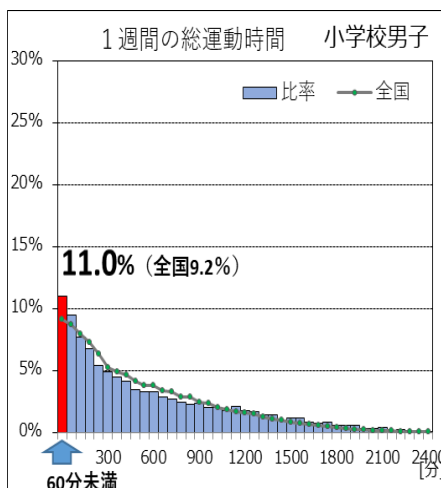
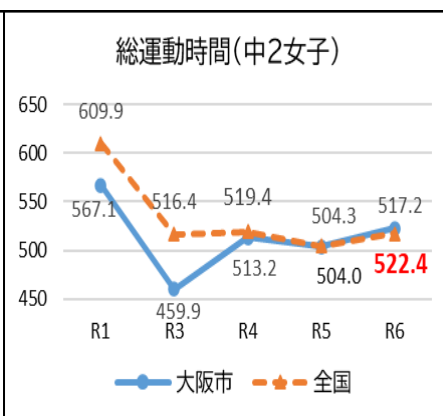
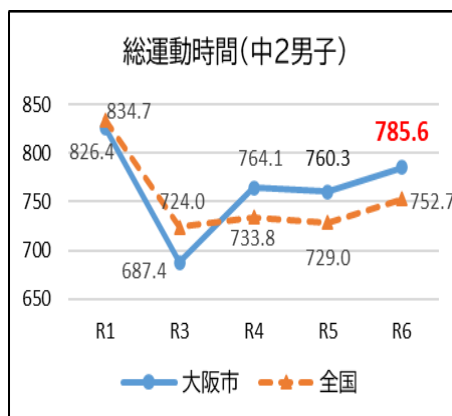
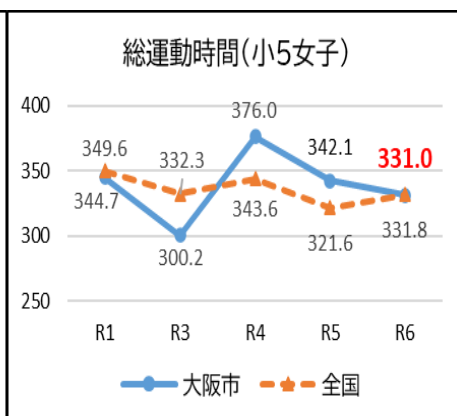
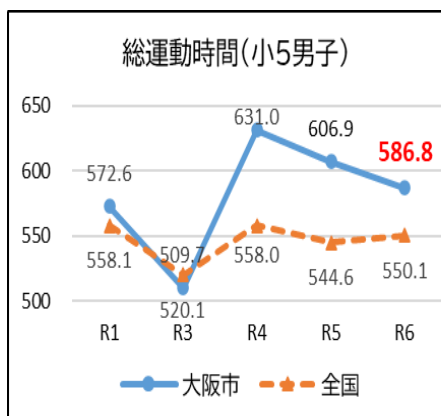


体力合計点の経年比較 中学校女子



1(2) 1週間の総運動時間(体育授業時間を除く)

- 全国の「1週間の総運動時間(体育授業時間を除く)」においては、小中学校男女において増加している。
- 本市では小中学校とも総運動時間60分未満の割合が最も多く、いずれも全国より割合が多い。
- 全国・本市ともに中学校では1週間で10時間以上運動している生徒も多い(二極化)。
- ★中学校では、運動部活動によって総運動時間の底上げが一定図られていると考えられる。



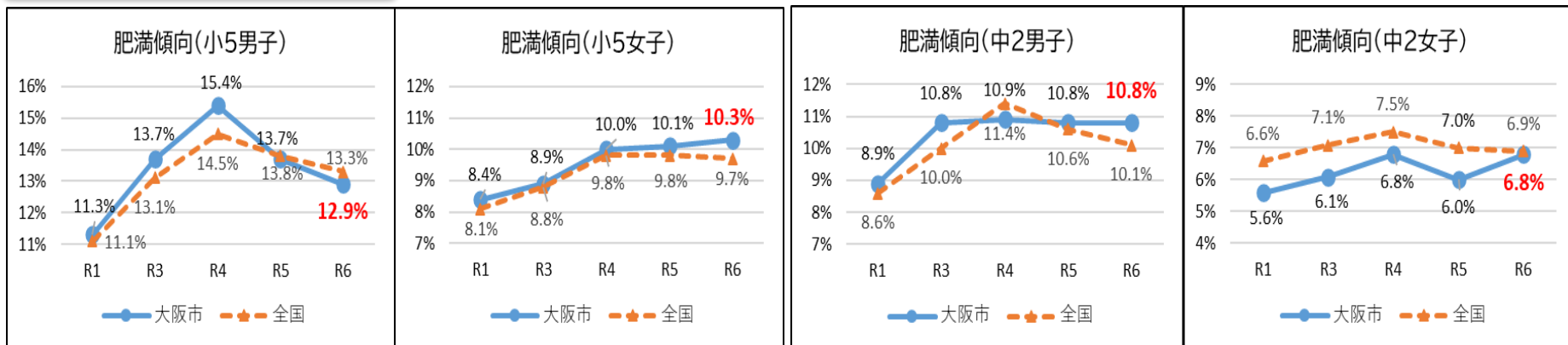
1(3) 生活習慣について①

○全国の「肥満傾向」「睡眠時間」については、改善傾向となっている。

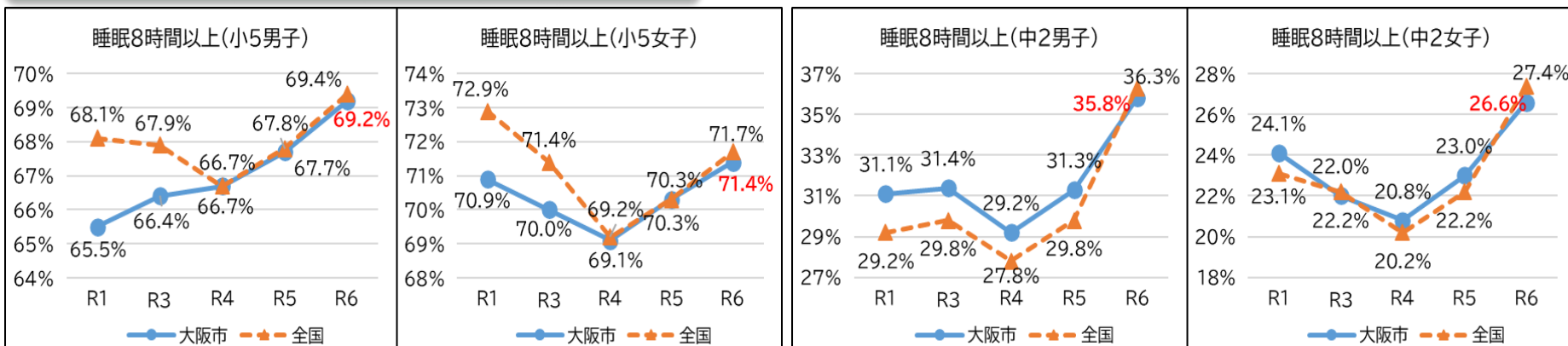
○「肥満傾向」は本市において、小学校男子で改善傾向、小学校女子・中学校男子でほぼ横ばい、中学校女子で増加した。

○「睡眠時間」は本市において、小中学校男女とも回善傾向となっている。

肥満傾向について



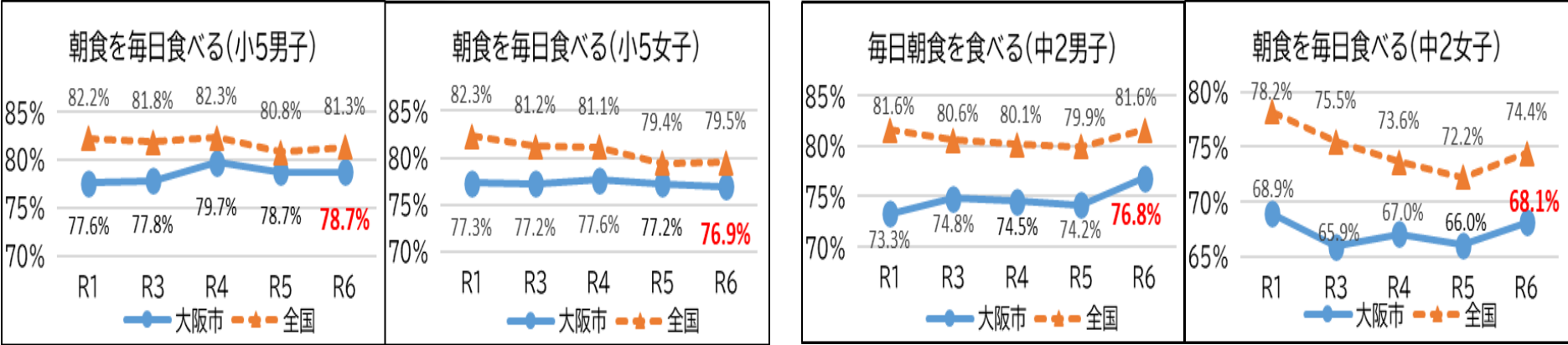
睡眠時間について(8時間以上)



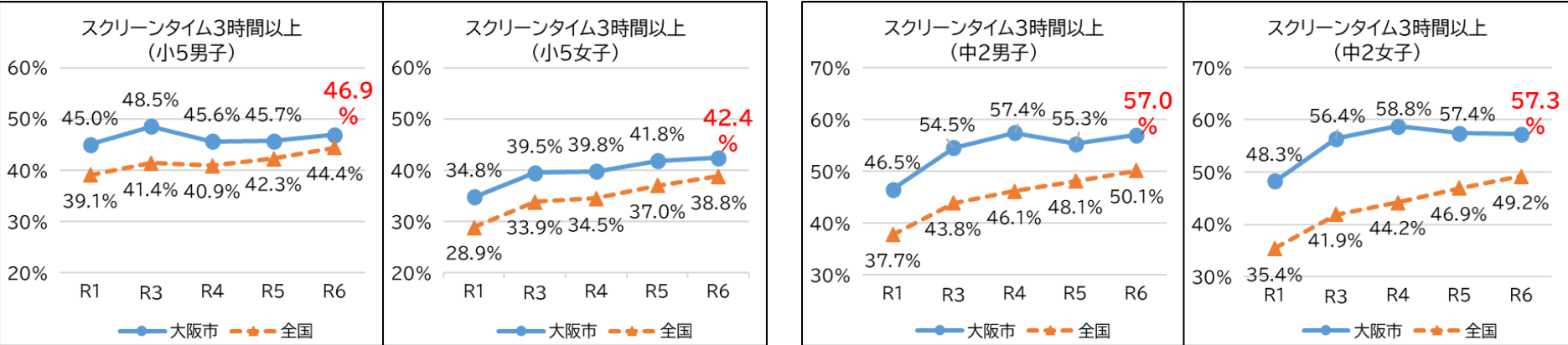
1(3) 生活習慣について②

○「朝食を食べる」は本市において、小学校男女でほぼ横ばい、中学校男女で改善傾向にある。
 ○「スクリーンタイム」について、全国ではコロナ以前から引き続き増加が続いている。本市においても小中学校男女において、全国より高い数値となっている。

朝食について(毎日食べる)



スクリーンタイムについて(学習以外で3時間以上)

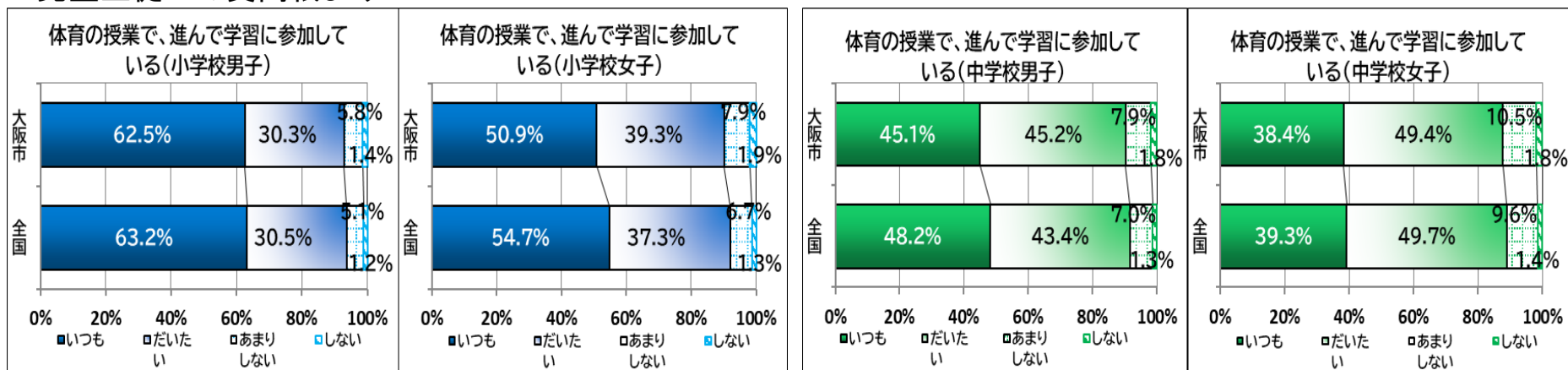


1(4) 体力・運動能力の向上の取組

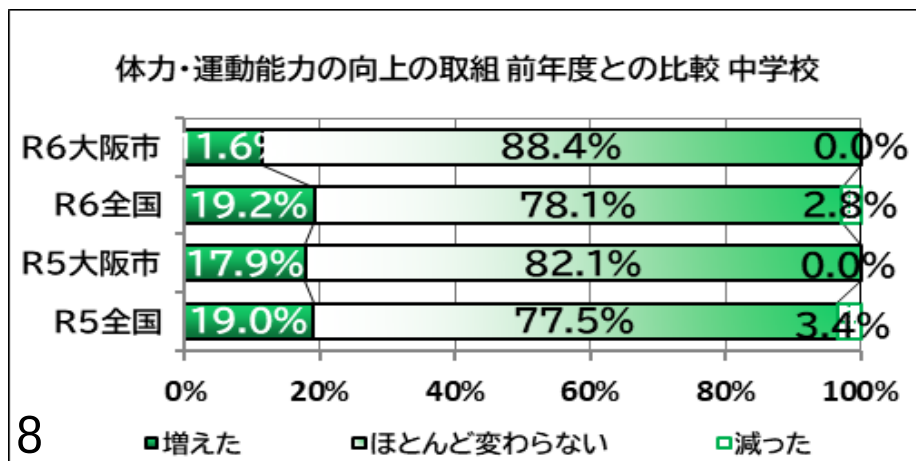
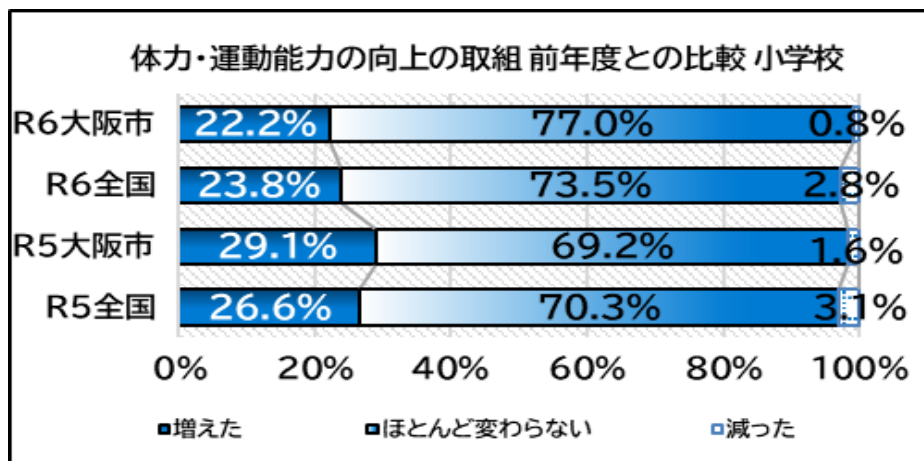
○本市では「体育の授業で、進んで学習に参加している」に肯定的に回答した児童生徒は約9割程度。昨年度よりも、小学校男女で「いつも」に回答した割合が減少、中学校男女では増加している。

○本市では体力・運動能力の向上の取組において、小学校では「取組時間が減った」と回答した割合が減少した。中学校では「減った」と回答した学校が「0」であった。

＜児童生徒への質問紙より＞



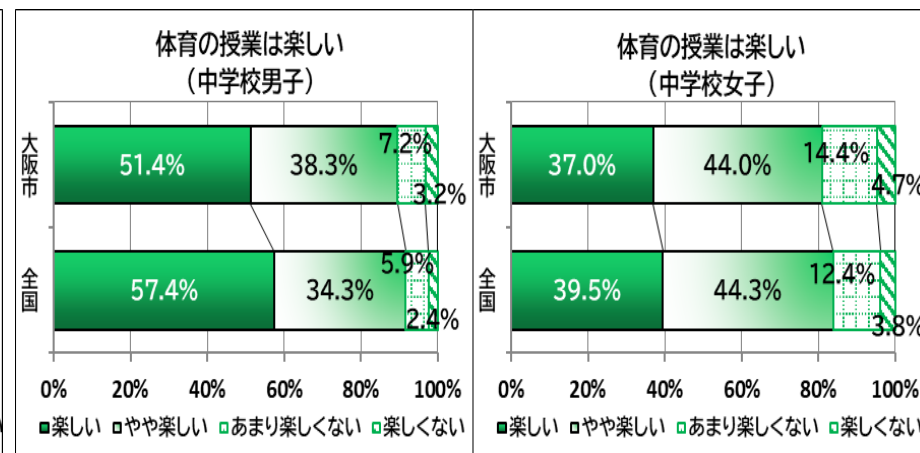
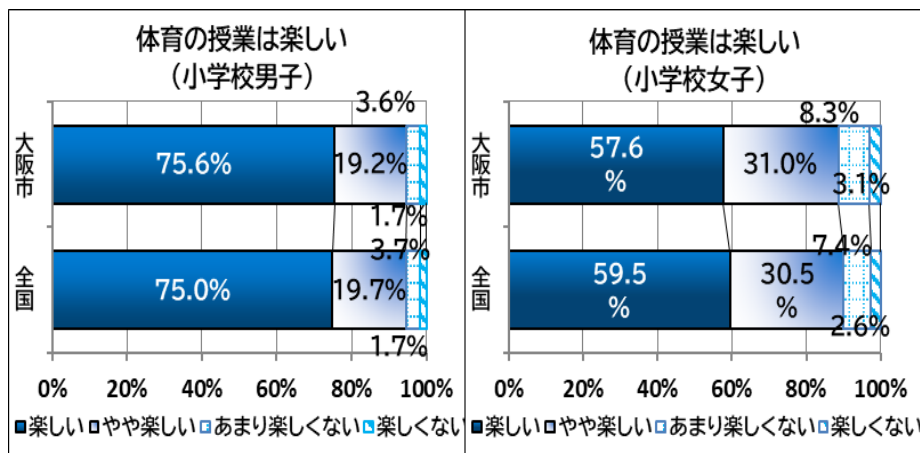
＜学校への質問紙より＞



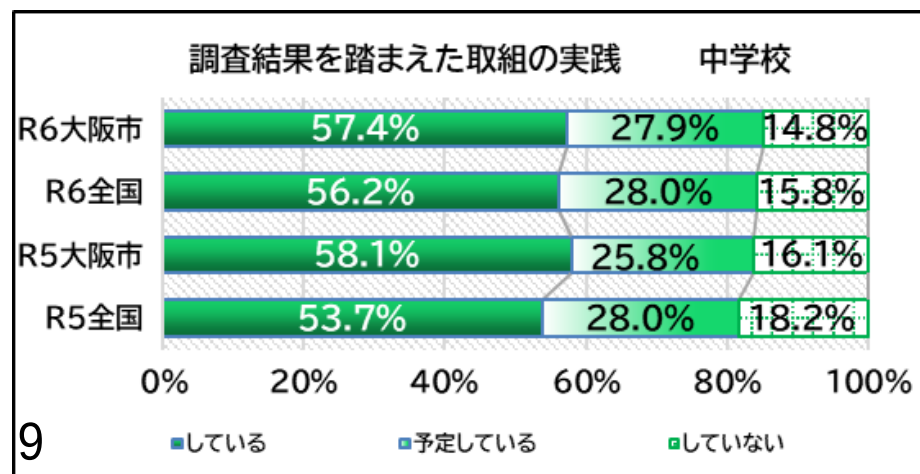
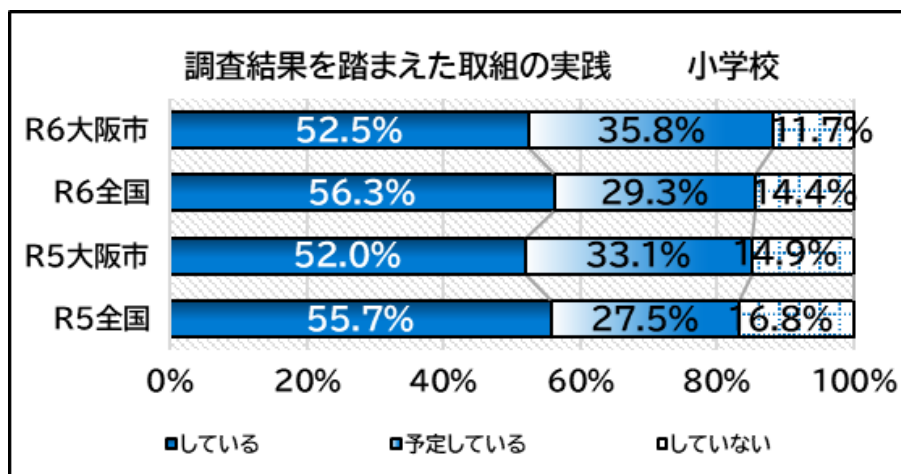
1(5) 授業の工夫・改善

- 本市の小学校男女と中学校男子は、約9割程度が体育授業が「楽しい」と肯定的に回答している。
- 調査結果を踏まえた取組の実践について、「している」「予定している」の割合が小中学校とも全国より高く、また、昨年度よりも増加しており、各校が体力向上に向け取り組んでいる。

「児童生徒への質問紙より」



「学校への質問紙より」



2 今後の取組

○調査結果より見えてきた課題への取組

1 教育委員会事務局の取組

教育振興基本計画に基づく「子どもの体力づくり強化プラン」の推進

プラン内容

- ★子どもたちの運動機会を増やし、運動意欲を高める取組の推進
 - ・教員の指導力を向上させる研修会を実施
 - ・幼稚園、小学校の連携した体力向上(運動意欲の向上)取組の実施
 - ・「新体力テスト」実施にあたっての助言
 - ・「リーフレット『いっしょにのぼそう！子どもの体力』」[※]の作成

※ 家庭・学校園・地域が協力して取り組む啓発資料

2 学校の取組

- ・学校ホームページの公表資料「学校の概要」や「学校のあゆみ(中学校)」を活用した体力向上、運動習慣の確立に関する情報提供により課題を分析し工夫・改善
- ・『いっしょにのぼそう！子どもの体力』リーフレットの配付及び保護者への啓発
- ・「新体力テスト測定方法」の動画を活用し校内研修の実施
- ・大阪府全域の小学校3・4年生対象で「新体力テスト」を全種目実施
- ・「2つのことを同時に」「左右別の動き」を取り入れた運動(シナプソロジー)の講習会を実施
参加教員による校内伝達及び、参加教員の学級において週1, 2回実施(2か月程度)